

# 日本のポンペイ

～ 渋川市の遺跡を探る ～

No.8

『榛名山噴火関連遺跡の資料を訪ねて』

渋川市埋蔵文化財センターには、

金井東裏遺跡・中筋遺跡・黒井峯遺跡をはじめ、榛名山噴火で埋もれた遺跡などについて、その概要や発掘当時の写真、出土遺物の一部、復元模型などの資料が展示されています。

これらに加えて、近日中に、軽石などの土層断面を剥ぎ取った資料も公開されます。この資料は、黒井峯遺跡近くの西組遺跡のもので、当地を軽石が埋め尽くした状況がよく分かり、被害の大きさを目の当たりにすることができます。

同じ北橋町にある県埋蔵文化財調査センター発掘情報館には、金井東裏遺跡から出土した甲よろぎを着た古墳人の複製や、さまざまな出土遺物、出土状況写真など、同遺跡に関わる豊富な資料が展示されています。併せて、最新の調査成果も紹介されています。

現在、多くの榛名山噴火関連遺跡などは埋め戻され、見ることはできませんが、中筋遺跡は現地に平地建物や竪穴建物、祭祀跡、垣根などが復元・整備され、噴火前の景観を知ることができます。また、黒井峯遺跡では、現地で「黒井峯タイムトラベル」(群馬県公式アプリ)を活用すれば、バーチャルリアリティーの世界で再現された古墳時代の集落の様子を見ることができます。

黒井峯遺跡に立つと西方に榛名山二ツ岳がよく望めます。1500年前、静かなその姿が激変した時、当時ここで暮らしていた人々の驚きと恐怖を身近に感じることができそうです。

(榛名山噴火関連遺跡等活用に関する有識者会議委員 唐澤裕美)



復元された中筋遺跡の平地建物